

KOGANEI

**電動ポンプコントローラ
F-RPCU01 用
サポートソフト**

取扱説明書

目 次

1. 安全上の注意	2
2. ソフト概要	
2-1 概要	3
2-2 使用環境条件	3
3. 使用前の準備	
3-1 準備	4
3-2 パソコンとコントローラの接続	4
4. 起動操作	
4-1 ソフト起動時の手順	5
4-2 ソフト起動時のフロー	7
5. 基本操作	
5-1 操作手順	10
5-2 サポートソフト操作画面	10
5-3 メイン画面操作方法	13
5-3-1 データエリア操作方法(レシピ設定・パラメータ設定)	13
5-3-2 データエリア操作方法(エラー履歴)	14
5-4 フリーコマンド画面操作方法	15
5-5 出力確認画面操作方法	16
5-6 一括モニタ画面操作方法	17
5-7 運転および現在吐出量エリア操作方法	18
5-8 モニタエリア説明	19
6. 改定履歴	20

※ポンプ本体・コントローラの詳細につきましては、各取扱説明書をご参照ください。

1. 安全上の注意

ご使用になる前に必ずお読みください。

製品の選定および当該製品のご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

当社製品は、一般産業機械用部品として、設計、製造されたものです。

以下に示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。装置・機器全体の設計や、管理に関わる安全性については、最新の各種該当規格および法規などの安全規則と併せて必ずお守りください。

- ・ ISO12100 (JIS B9700 : 機械類の安全性—設計のための一般原則—リスクアセスメントおよびリスク低減)
- ・ IEC60204-1 (JIS B9960-1 : 機械類の安全性—機械の電気装置—第1部 : 一般要求事項)
- ・ 労働基準法、労働安全衛生法

指示事項は、危害・損害の程度により「危険」、「警告」、「注意」に区分けしています。

 危険	取扱いを誤った場合、緊急性の高い危険を伴い、使用者が死亡または重傷 ⁽¹⁾ を負う可能性があります。
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ⁽¹⁾ を負う可能性があります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷 ⁽²⁾ を負うか、または物的損害 ⁽³⁾ が発生する可能性があります。

注⁽¹⁾ 重傷とは失明や、ケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをいう。

注⁽²⁾ 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをいう。

注⁽³⁾ 物的損害とは、家屋・家財・搭載装置および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

この「安全上の注意」に記載している内容は、すべての危険事象を網羅したものではありません。カタログおよび取扱説明書をよく読み、常に安全を第一に考えてください。

警告

- 「カタログ」、「取扱説明書」などに記載のない条件や環境、製品仕様外での使用はしないでください。
- 次に示すような用途に向けた企画、設計はされておりません。ご検討の場合は、必ず当社営業担当までご相談ください。
 1. 人命および身体の維持、管理に関わる医療器具
 2. 人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置
 3. 機械装置の重要保安部品
 4. 特に高度な安全性が要求される用途
(原子力、宇宙機器、鉄道、航空、船舶、車両、軍用、医療機器、飲食品製造機器、燃焼装置、娯楽機器、機能安全機器など)
- 製品の選定および取扱いは、システム設計者または担当者等十分な知識と経験を持った人が、必ず「カタログ」、「取扱説明書」などの安全上の注意事項や仕様を読んだ後に取り扱ってください。また、必要に応じて適合性の確認を行ってください。
- 製品は多様な条件下で使用されるため、そのシステムの適合性の決定は、システム設計の責任者が十分に評価した上で行ってください。システムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した設計者の責任になります。機器の故障の可能性について考慮していただき、フェイルセーフ等の安全性・信頼性を確保したシステムを構成してください。
- 当該製品を使用してシステムを組む場合は、当社の純正部品または適合品（推奨品）を使用してください。また、保守整備を行う場合も、当社純正部品または適合品（推奨品）を使用し、所定の手段・方法を守って行ってください。
- 製品は絶対に改造しないでください。また、基本構造や性能・機能に関わる、不適切な分解組立は行わないでください。
- 製品へエネルギー（圧縮エアや電気など）を投入する前および装置を稼働する前には、必ず機器の接続状態や作動範囲の安全確認を行ってください。
- 製品に関わる据付、調整、保守点検、整備、配管の着脱または交換などの非正常作業は、必ず装置や設備に内在するエネルギーへの安全処置を行った上で、危険がないことを確認してから実施してください。各種作業は、製品、使用流体、流体制御システム等に十分な知識と経験を持った人が行ってください。

注意

- 非常停止、停電など、システムの異常時に機械が停止する場合、装置の破損・人身事故が発生しないよう、安全回路あるいは装置の設計をしてください。
- 製品は、寿命による性能・機能の低下があります。日常点検を実施し、システム上必要な機能を満たしていることを確認して未然に事故を防いでください。

お読みになった後は、当該製品をお使いになる方がいつでも読むことができる場所に、必ず保管してください。当該製品を譲渡または貸与する場合は、必ず新しく所有者となられる方が安全で正しい使い方をため、取扱説明書もあわせて譲渡してください。製品に関するお問い合わせは、お客様技術相談窓口にお問い合わせいたします。



<https://product.koganei.co.jp/manual>

お客様技術相談窓口 : 0120-44-0944

2. ソフト概要

2-1 概要

本ソフトは電動ポンプ用コントローラと通信を行い、コントローラの各種設定/ポンプの試運転/運転状態などの表示を行います。

- データの設定・保存

レシピデータ（吐出量、吐出速度等）、パラメータを入力、編集し、ファイルの保存を行います。

- 試運転

設定したレシピデータ・パラメータに基づき、運転のスタート、原点復帰および現在吐出量表示を行います。

- 表示

現在の圧力センサ状態やI/O入力、エラー表示を行います。

2-2 使用環境条件

- 対象ポンプ形式

F-EPP10H

- 作動環境

- ・基本ソフトウェア

Windows 7(SP1), Windows 8.1, Windows 10, Windows 11

- ・コンピュータシステム

- ☐ コンピュータ本体：Microsoft社が推奨するプロセッサ

- ☐ メモリ：Microsoft社が推奨するメモリ容量

- ☐ ハードディスクの空容量：100MB以上

- ☐ ディスプレイ：解像度1024×768以上

- ☐ シリアルポート：USBポート^{注1)} が使用可能のこと

- ☐ その他：「.NET Framework 4.8」がインストールされていること

F-WPCU01C用の「USB-RS485変換器ドライバ」がインストールされていること

注1) 通信の際にRS485シリアル通信を使用するため、USBポートが必要となります。

また、別途USB-RS485変換器(F-WPCU01C)を使用するので御用意をお願いします。

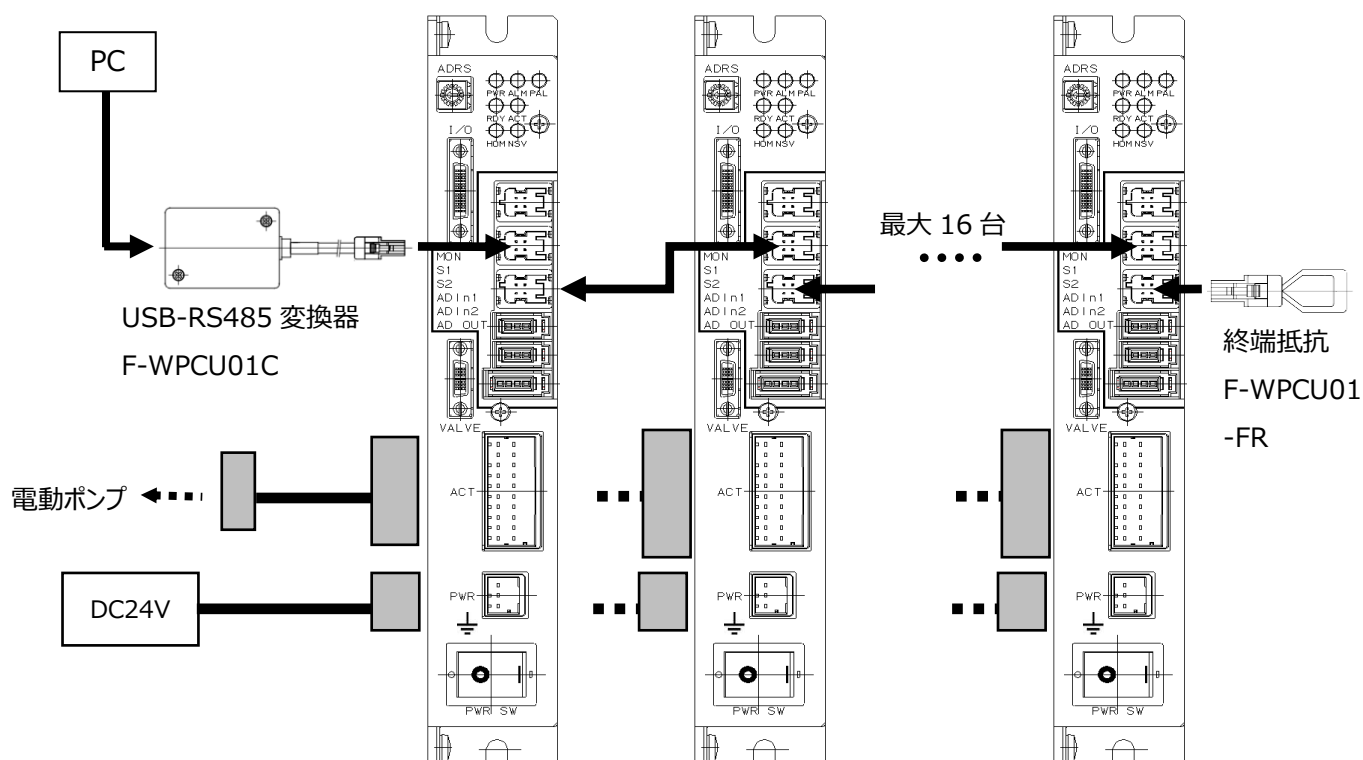
3. 使用前の準備

3-1 準備

- ・.NET Framework4.8がインストールされていない場合は「ndp48-x86-x64-allos-enu.exe」をインストールしてください。（当社HPからもダウンロードできます。）
- ・USB-RS485変換器ドライバがインストールされていない場合は「CDM2123620_Setup.exe」または「CDM2****_Setup.exe」のバージョン違い（数字が大きいもの）をインストールしてください。（当社HPからもダウンロードできます。）
- ・「setup.exe」を起動し、手順に従ってインストールしてください。
- ・インストールが完了するとスタートメニューとデスクトップにショートカットが作成されます。

3-2 パソコンとコントローラの接続

- ・USB-RS485変換器(F-WPCU01C)から出ているケーブルコネクタを、コントローラ“S1”コネクタへ接続してください。
- ・USB-RS485変換器1台に対し、コントローラを最大16台接続することができます。（デジチェーン接続）
- ・最後の1台には終端抵抗(F-RPCU01FR)を接続してください。
- ・デジチェーン接続する場合、アドレス設定はコントローラ前面に搭載の“ADRS”ロータリースwitchにて重複が無いように0～Fに割当ててください。
- ・デジチェーン内にアドレスの重複がある場合、返信データが衝突し正しく通信が行えません。



4. 起動操作

4-1 ソフト起動時の手順

本サポートソフトは、起動時にCOMポートの取得を行います。

言語選択および使用するCOMポートを選択してください。

以下の手順に対して、画面表示は「4-2 ソフト起動時のフロー」をご覧ください。

■ オンライン接続（サポートソフトとコントローラが通信状態）の場合

- 1) ソフト起動後、自動的にコントローラとの通信を開始します。
- 2) コントローラからレシピデータおよびパラメータデータを取得し、操作画面へ移動します。

■ オンライン状態（サポートソフトのみが通信状態）の場合

- 1) ソフト起動後、自動的にコントローラとの通信を開始します。
- 2) コントローラからの返信が無いことを確認して、機種選択画面へ移動します。
- 3) ご使用になるポンプ形式およびRS485アドレスを選択し、決定ボタンを押してください。
- 4) 操作画面へ移動します。

■ オフライン状態（Not connected選択）の場合

- 1) ソフト起動後、機種選択画面へ移動します。
- 2) ご使用になるポンプ形式およびRS485アドレスを選択し、決定ボタンを押してください。
- 3) 操作画面へ移動します。

注1：オンライン状態（サポートソフトのみが通信状態）は、コントローラと通信ケーブルで接続されていて、コントローラの電源がOFFの状態を表します。また、オフライン状態（Not connected選択）はコントローラと通信ケーブルで接続されていない状態を表します。

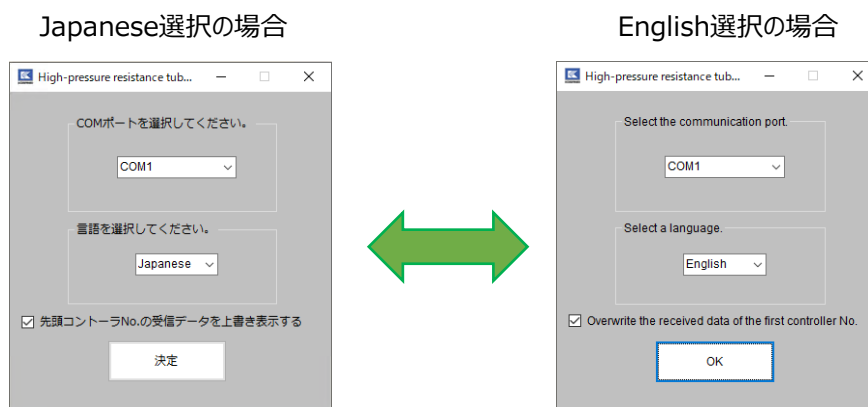
注2：オンラインの場合で、機種選択画面へ移動した場合は、サポートソフトとコントローラが通信状態になっていません。コントローラ電源、接続およびコネクタを点検してください。
また、選択したCOMポートが正しいか確認をお願いします。

注3：操作画面につきましては、「5.基本操作」をご覧ください。

注4：「先頭コントローラNo.の受信データを上書き表示する」にチェックを入れると、既に操作画面に入力してあるデータに受信データを上書きします。新規にデータを作成するため、受信データを画面に反映する必要がない場合や、操作画面から「COMポートの選択」で起動画面に移動したが、元データをそのまま残したい場合にはチェックを外してください。

4. 起動操作

■ 言語選択



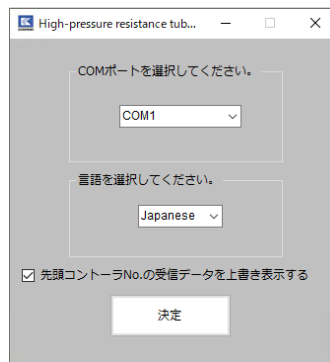
本取扱説明書では、日本語 (Japanese)を選択した際の画面にて機能を説明します。
英語(English)を選択した場合とは、表記やメッセージは異なりますが、機能や流れは同じです。

4-2 ソフト起動時のフロー

ソフトを立ち上げると通信ポートおよび言語選択画面(初期画面)が表示されます。

＜オンライン接続（サポートソフトとコントローラが通信状態）の場合＞

通信ポートおよび言語選択画面
(ソフト初期画面)



使用する通信ポートを選択してください。

「Japanese」を選択してください。

接続確認画面
赤色：接続
白色：未接続



操作画面

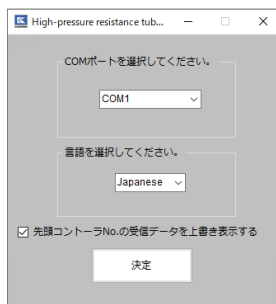


コントローラとの通信が成功すると、通信可能なコントローラのうち、一番若いアドレスが選択され、操作画面が自動的に表示されます。

4. 起動操作

＜オンライン状態（サポートソフトのみが通信状態）の場合＞

通信ポートおよび言語選択画面
(ソフト初期画面)



使用する通信ポートを選択してください。

「Japanese」を選択してください。

接続確認画面
赤色：接続
白色：未接続



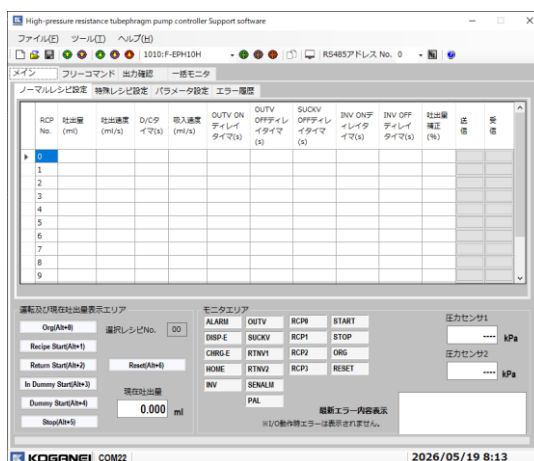
コントローラとの通信が失敗すると、機種選択画面が表示されます。

機種選択画面



ポンプ形式および RS485 アドレスを選択し、決定ボタンを押すと操作画面が表示されます。

操作画面



＜オフライン状態（未接続選択）の場合＞

通信ポートおよび言語選択画面
(ソフト初期画面)

通信ポートを「未接続」に選択。
機種選択画面が表示されます。

「Japanese」を選択してください。

機種選択画面

ポンプ形式および RS485 アドレスを
選択し、決定ボタンを押すと操作画
面が表示されます。

操作画面

5.基本操作

5-1 操作手順

操作手順について説明します。

- 1) 所定のポンプ形式番号に合わせ、パラメータの初期化を行います。
(必ず、接続した電動ポンプのポンプ形式番号を設定してください。)
- 2) メインエリアのパラメータ設定欄で、使用条件に合わせてパラメータを設定します。
- 3) メインエリアのノーマルレシピ設定欄、特殊レシピ設定欄でレシピデータを設定します。
- 4) レシピデータおよびパラメータデータを送信します。
- 5) 運転および現在吐出量エリアで、Orgボタンを押して原点復帰を行います。
- 6) メインエリアのノーマルレシピ設定欄より、作動したいレシピNo.の行を選択します。
- 7) 運転および現在吐出量エリアで、Recipe Startボタンを押して指定のレシピ動作を行います。

※他のレシピNo.を作動させる場合は、6)～7)の操作をしてください。

特殊レシピデータを動作させる場合は、5-7項を参照してください。

注意

運転モードで本体を作動させる場合は、必ず外部に非常停止または、ストップ機能を設けてください。

通信異常等で、ソフトのストップ機能がきかなくなる場合があります。

5-2 サポートソフト操作画面

The screenshot shows the 'High-pressure resistance tube pump controller Support software' window. It features a menu bar (1), a toolbar (2), and a status bar (3). The main area is divided into several sections: a 'Recipe Setting' table (4), a 'Monitoring Area' with various control buttons (5), and a 'Current Discharge' display (6). The status bar at the bottom shows the company name 'KOGANEI', communication details, and the current time (2026/05/08 12:06). A legend on the right side of the image explains the numbered callouts.

RCP No.	吐出量 (ml)	吐出速度 (ml/s)	D/Cタイム(s)	吸入速度 (ml/s)	OUTV ON ディレイ タイム(s)	OUTV OFFディレ イタイム (s)	SUCKV OFFディレ イタイム (s)	INV ONデ イレイ イタイム(s)	INV OFF ディレイ タイム(s)	吐出量 補正 (%)	送信	受信
0												
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												

Legend:

- ① : メニューバー
- ② : ツールバー
- ③ : ステータスバー
- ④ : 設定/テスト切り替えタブ
- ⑤ : データエリア/各テスト機能エリア
- ⑥ : 運転および現在吐出量エリア
- ⑦ : モニタエリア

No.	名 称	意 味																					
①	メニューバー	<p>プルダウンメニュー第一階層メニューが表示されます。 機能別に3つのプルダウンメニューを、メニューバーに表示します。</p> <p>■ ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規作成：画面上の設定値を削除して初期状態にします。 ・開く：保存されたファイルから設定値を読み込み画面上に表示します。 ・保存：設定値を保存します。 ・終了：プログラムを終了します。 <p>■ ツール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括送信(レシピ) : コントローラへ全てのレシピデータを送信します。 ・一括送信(パラメータ) : コントローラへPRM0以外全てのパラメータデータを送信します。 ・一括受信(レシピ) : コントローラから全てのレシピデータを受信します。 ・一括受信(パラメータ) : コントローラから全てのパラメータデータを受信します。 ・エラー履歴取得 : 過去16件のエラー履歴を表示します。 ・初期化(レシピ) : レシピデータを初期化します。 ・初期化(パラメータ) : パラメータデータを初期化します。 パラメータデータ初期化の際は、ポンプ形式を選択してください。 ・初期化(エラー履歴) : エラー履歴データを初期化します。 ・照合 : 設定値とコントローラ内のデータを比較照合します。 ・COM設定 : COMポート設定画面が表示され、COMポート設定を行うことができます。 ・RS485アドレス取得 : 接続されているコントローラのアドレスを取得します。 取得されたアドレス番号は、ツールバーの「RS485アドレス」欄に表示されます。接続したいコントローラのアドレスを、「RS485アドレス」欄から選択してください。 <p>■ ヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョン情報の表示 																					
②	ツールバー	<p>最もよく使うメニューコマンドのショートカットとして便利なボタンです。</p> <table border="0"> <tr> <td> 新規作成</td> <td> 開く</td> <td> 保存</td> </tr> <tr> <td> 送信 (レシピ)</td> <td> 送信 (パラメータ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 受信 (レシピ)</td> <td> 受信 (パラメータ)</td> <td> 受信 (エラー履歴)</td> </tr> <tr> <td> 初期化 (レシピ)</td> <td> 初期化 (パラメータ) 注1)</td> <td> 初期化 (エラー履歴)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">＜ポンプ形式番号選択欄注2)＞</td> </tr> <tr> <td> 照合</td> <td> COM設定</td> <td> 接続コントローラアドレス取得 <アドレス No.欄></td> </tr> <tr> <td> バージョン情報取得</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注1) 初期化するポンプ形式番号を、 ボタン右隣のポンプ形式番号から選択してください。</p> <p>注2) ポンプ形式番号欄を変更すると、ポンプ形式番号に沿ってパラメータ初期値や入力範囲も変更になります。ポンプ形式番号欄を変更しただけではポンプ形式番号がコントローラへ反映されませんのでご注意ください。</p>	新規作成	開く	保存	送信 (レシピ)	送信 (パラメータ)		受信 (レシピ)	受信 (パラメータ)	受信 (エラー履歴)	初期化 (レシピ)	初期化 (パラメータ) 注1)	初期化 (エラー履歴)		＜ポンプ形式番号選択欄注2)＞		照合	COM設定	接続コントローラアドレス取得 <アドレス No.欄>	バージョン情報取得		
新規作成	開く	保存																					
送信 (レシピ)	送信 (パラメータ)																						
受信 (レシピ)	受信 (パラメータ)	受信 (エラー履歴)																					
初期化 (レシピ)	初期化 (パラメータ) 注1)	初期化 (エラー履歴)																					
	＜ポンプ形式番号選択欄注2)＞																						
照合	COM設定	接続コントローラアドレス取得 <アドレス No.欄>																					
バージョン情報取得																							
③	ステータスバー	・接続ポート名 ・入力範囲 ・日付 ・時間																					

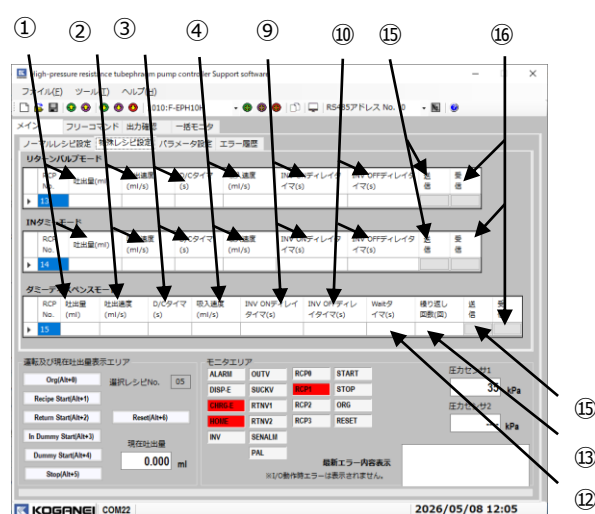
No.	名 称	意 味
④	設 定 / テ ス ト 切り替えタブ	<p>タブを切り替えることで設定機能とテスト機能を切り替えることができます。 メイン画面以外はテスト機能となりますので、必要に応じて選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン画面タブ : レシピデータおよびパラメータデータの送受信、エラー履歴確認を行います。 ・フリーコマンド送受信画面タブ : コマンドを送受信することができます。 ・出力確認画面タブ : 信号やバルブが正しく配線されているか、出力確認を行うことができます。 ・一括モニタ画面タブ : 接続されているコントローラ全てのモニタを行います。
⑤	データエリア/ 各テスト機能 エリア	<p>タブを切り替えることでメイン画面のデータエリアが切り換わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマルレシピ設定タブ : 通常の1往復吐出吸入動作に対するレシピ設定を行います。送受信も可能です。 ・特殊レシピ設定タブ : ダミー動作など、特殊動作を行う制御に対するレシピ設定を行います。送受信も可能です。 ・パラメータ設定タブ : パラメータデータの設定を行います。送受信も可能です。 ・エラー履歴タブ : 取得したエラー履歴を表示します。 <p>設定テスト切り替えタブが「メイン画面」以外の時は、各テスト機能が表示されます。</p>
⑥	運転および現 在吐出量エリ ア	<ul style="list-style-type: none"> ・設定したレシピデータに基づき、運転のスタート、ストップ、原点復帰およびリセットを行います。 ・現在吐出量を現在吐出量表示ボックスに表示します。 吸入時は、吐出した量から減算した値となります。
⑦	モニタエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ALARM, DISP-E, CHRGE, HOME, INV, OUTV, SUCKV, RTNV1, RTNV2, SENALM, PAL信号の出力状態を表示します。 ・START, STOP, ORG, RESET信号の入力状態を表示します。 ・レシピ設定入力RCP0～3の入力状態を表示します。 ・圧力センサ1, 圧力センサ2の圧力状態を表示します。 ・最新エラー内容表示ボックスにて、発生したエラー内容を表示します。 新しいエラーが発生した場合は上書きされます。

5-3 メイン画面操作方法

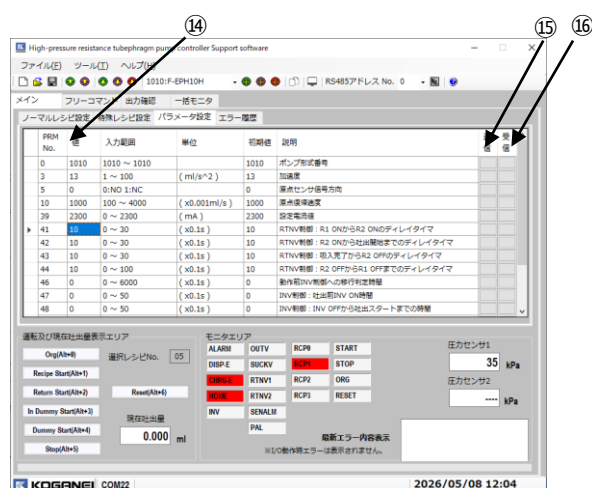
5-3-1 データエリア操作方法(レシピ設定・パラメータ設定)



ノーマルレシピ設定画面



特殊レシピ設定画面



パラメータ設定画面

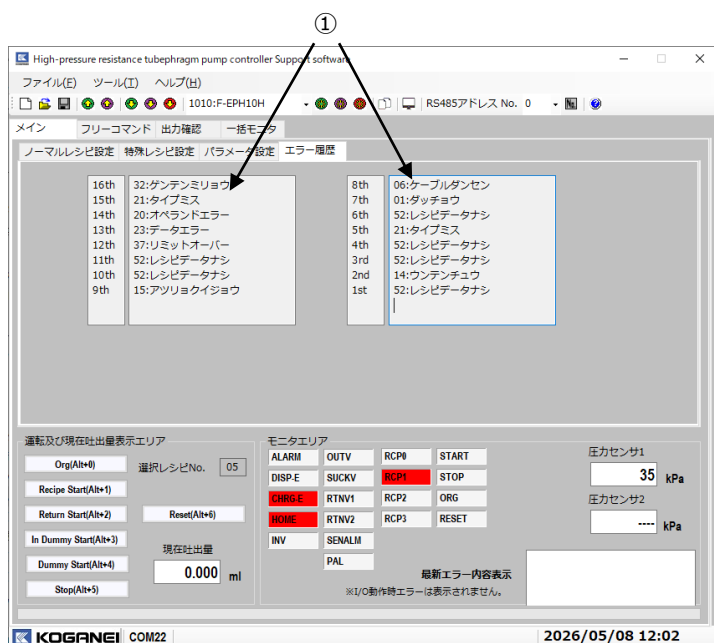
- | | |
|-------------------------|--------------|
| ① : データエリア切り替え | ⑨ : INV ON |
| ② : 吐出量 | ⑩ : INV OFF |
| ③ : 吐出速度 | ⑪ : 吐出量補正 |
| ④ : D/C タイム | ⑫ : Wait タイム |
| ⑤ : 吸入速度 | ⑬ : 繰り返し回数 |
| ⑥ : OUTV ON
デレイタイム | ⑭ : パラメータ |
| ⑦ : OUTV OFF
デレイタイム | ⑮ : 個別送信 |
| ⑧ : SUCKV OFF
デレイタイム | ⑯ : 個別受信 |

No.	名称	操作方法	注意
①	データエリア切り替え	・タブを切り替えることでデータエリアの機能が切り換わります。 ノーマルレシピ設定 / 特殊レシピ設定 / パラメータ設定 / エラー履歴	
②	吐出量	・レシピデータの吐出量を入力します。	・レシピモードによる動作については、コントローラ (F-RPCU01) の取扱説明書を参照してください。
③	吐出速度	・レシピデータの吐出速度を入力します。	
④	D/C タイム	・レシピデータの D/C タイムを入力します。	
⑤	吸入速度	・レシピデータの吸入速度を入力します。	
⑥	OUTV ON デレイタイム	・レシピデータの OUTV ON デレイタイムを入力します。	
⑦	OUTV OFF デレイタイム	・レシピデータの OUTV OFF デレイタイムを入力します。	

5. 基本操作

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
⑧	SUCKV OFF ディレイタイム	・レシピデータの SUCKV OFF ディレイタイムを入力します。	・レシピモードによる動作については、コントローラ (F-RPCU01)の取扱説明書を参照してください。
⑨	INV ON ディレイタイム	・レシピデータのINV ON ディレイタイムを入力します。	
⑩	INV OFF ディレイタイム	・レシピデータのINV OFF ディレイタイムを入力します。	
⑪	吐出量補正	・レシピデータの吐出量補正を入力します。	
⑫	Wait タイム	・レシピデータのWaitタイムを入力します。	
⑬	繰り返し回数	・レシピデータの繰り返し回数を入力します。	
⑭	パラメータ	・パラメータデータを入力します。	
⑮	個別送信	・選択データ No.の送信を行います。	・PRM0 は受信専用のため送信できません。
⑯	個別受信	・選択データ No.の受信を行います。	

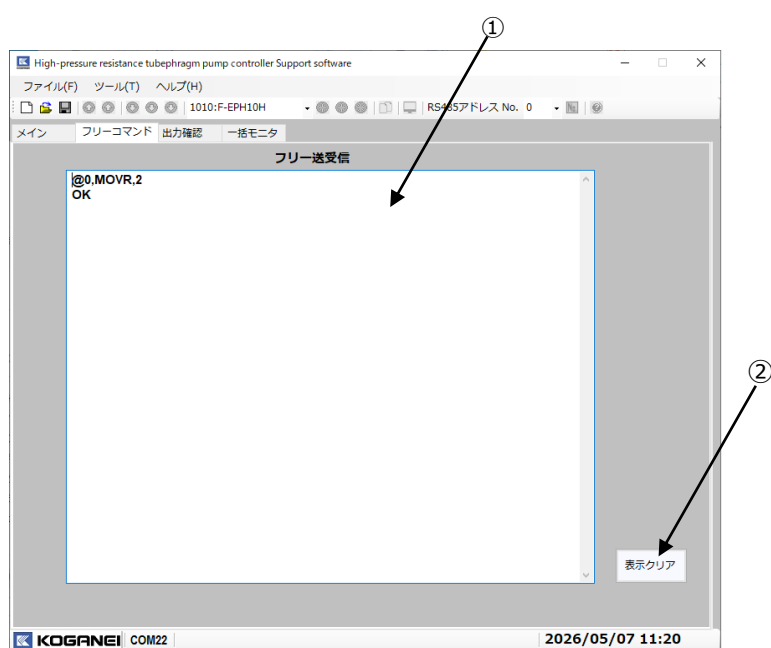
5-3-2 データエリア操作方法(エラー履歴)



①：エラー履歴表示

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	エラー履歴表示	・取得したエラー履歴を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去 16 件のエラー履歴を表示します。 ・8 件以内の場合は左の欄のみ表示となり、9 件以上になると右の欄もエラー履歴が表示されます。 ・数字が小さいほど最新のエラーとなります。(左上が一番古く、右下が最新のエラー履歴となります。)

5-4 フリーコマンド画面操作方法



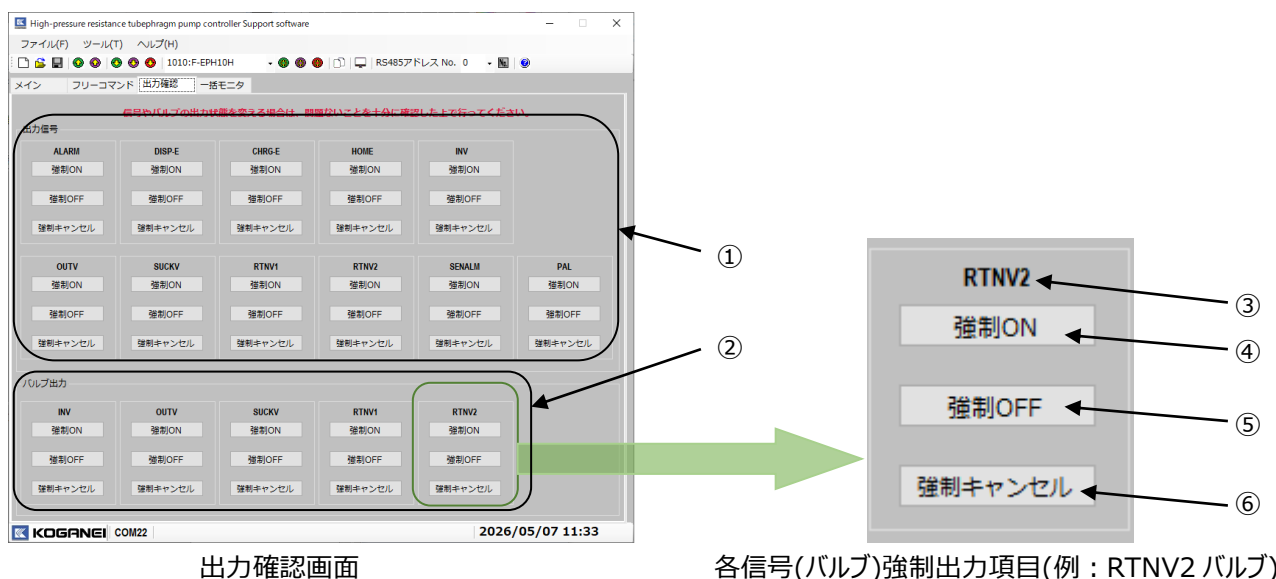
①：フリー送受信エリア

②：表示クリア

フリーコマンド画面

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	フリー送受信エリア	<ul style="list-style-type: none"> 直接コマンドを入力することができます。 また、コマンドに対する返信も表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> コマンドにつきましては、コントローラ (F-RPCU01) の取扱説明書を参照ください。 フリー送受信エリアは最大 27 行です。27 行を超えると、古いほうから 2 行ずつ削除されます。
②	表示クリア	<ul style="list-style-type: none"> フリー送受信エリアをクリアします。 	

5-5 出力確認画面操作方法



出力確認画面

各信号(バルブ)強制出力項目(例：RTNV2 バルブ)

- ①：出力信号制御欄
②：バルブ出力制御欄

- ③：出力信号名(バルブ出力名)
④：出力信号/バルブ出力強制 ON
⑤：出力信号/バルブ出力強制 OFF
⑥：出力信号/バルブ出力強制キャンセル

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	出力信号制御欄	全出力信号が表示されています。 各種信号ごとに出力確認する項目が用意されています。	項目については③～⑥を参照してください。
②	バルブ出力制御欄	全バルブが表示されています。 各種バルブごとに出力確認する項目が用意されています。	
③	出力信号名 (バルブ出力名)	・対象の出力信号名またはバルブ出力名を表示します。	・配線確認や出力確認以外では使用しないでください。 ・信号やバルブの出力状態を変える場合は、切り替わることで装置制御に問題ないことを十分に確認した上で行ってください。装置の故障に繋がる可能性があります。
④	出力信号/バルブ出力 強制 ON	・指定の信号/バルブに対して、現在の出力状態に関係なく、強制的に出力を ON します。	
⑤	出力信号/バルブ出力 強制 OFF	・指定の信号/バルブに対して、現在の出力状態に関係なく、強制的に出力を OFF します。	
⑥	出力信号/バルブ出力 強制キャンセル	・指定の信号/バルブに対して、強制出力を解除し、現在の出力状態に戻します。	

注1) 画面切り替えを行うと、全ての強制出力がキャンセルされます。

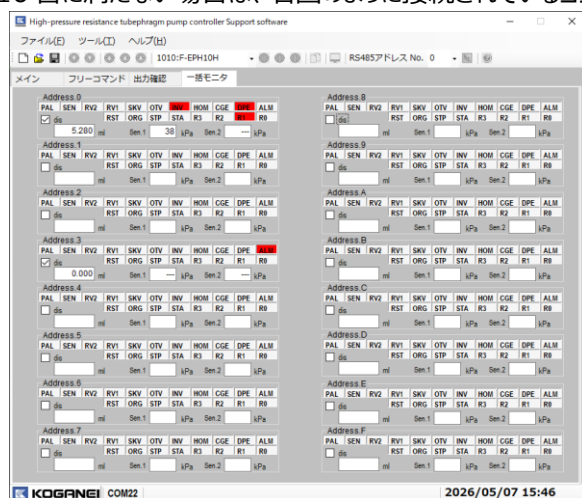
注2) 出力確認画面のまま閉じるボタンを押してソフトを終了すると、すべての強制出力がキャンセルされます。

注3) 通信ケーブルが抜かれている状態や電源切断状態での切り替えやノイズなどにより、強制状態が変わらない場合があります。

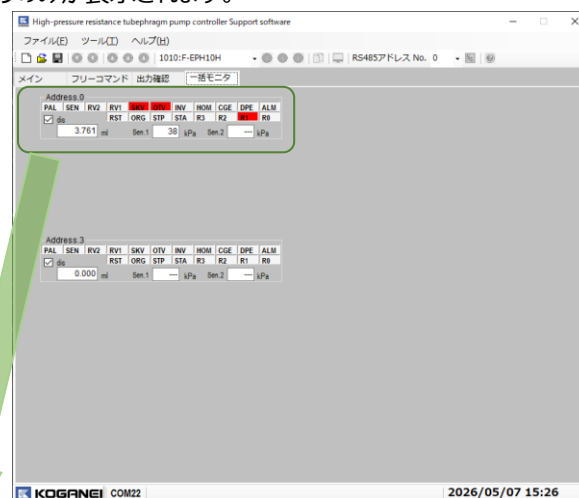
5-6 一括モニタ画面操作方法

デジチェーン接続されている全てのコントローラ制御状態を一括でモニタすることができます。

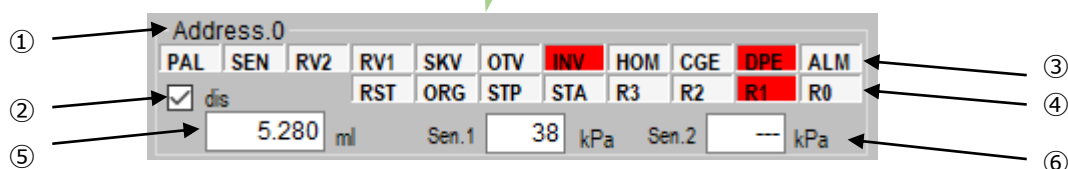
16 台に満たない場合は、右図のように接続されているコントローラのみが表示されます。



一括モニタ画面(16 台)



数台時の一括モニタ画面(例：RS485 アドレス 0,3 のみ)



モニタ部拡大(例：RS485 アドレス 0)

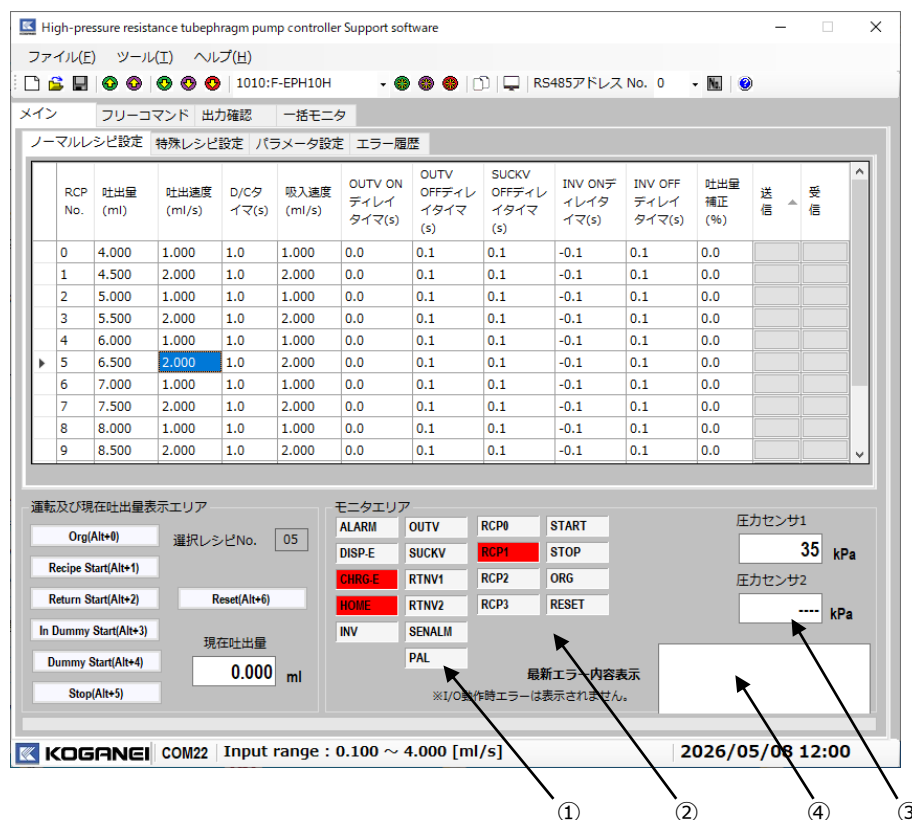
No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	RS485 アドレス	RS485 アドレスを表示します。	
②	更新対象選択	更新対象にするか選択します。 チェックあり：更新対象	更新対象が少ないほど更新周期は早くなります。更新周期を優先したい場合は更新対象を減らしてください。また、電源 OFF コントローラが更新対象の場合、返信タイムアウトを待つため周期が遅くなります。
③	出力信号状態	現在の出力状態を表します。 ALM : ALARM 出力 SKV : SUCKV 出力 DPE : DISP-E 出力 RV1 : RTNV1 出力 CGE : CHRG-E 出力 RV2 : RTNV2 出力 HOM : HOME 出力 SEN : SENALM 出力 INV : INV 出力 PAL : PAL 出力 OTV : OUTV 出力	赤：ON 白：OFF 橙：ON/OFF 以外の受信 注) 表示が安定しない場合や、橙が頻繁に表示される場合は、RS485 アドレススイッチや配線、ノイズ環境を確認してください。
④	入力信号状態	現在の入力状態を表します。 R0 : RCP0 入力 STA : START 入力 R1 : RCP1 入力 STP : STOP 入力 R2 : RCP2 入力 ORG : ORG 入力 R3 : RCP3 入力 RST : RESET 入力	
⑤	現在吐出量表示	現在の吐出量を表示します。	吸入時は、吐出した量から減算した値となります。
⑥	圧力センサ表示	現在の圧力センサ 1、圧力センサ 2 の状態を表示します。	未接続時は「---」と表示します。

5-7 運転および現在吐出量エリア操作方法

① : 原点復帰
 ② : レシピ動作スタート
 ③ : リターンバルブモード
 レシピ動作スタート
 ④ : インダミーモード
 レシピ動作スタート
 ⑤ : ダミーモード
 レシピ動作スタート
 ⑥ : ストップ
 ⑦ : リセット
 ⑧ : 選択レシピ No.
 ⑨ : 現在吐出量

No.	名称	操作方法	注意
①	原点復帰	原点復帰を行います。	
②	レシピ動作スタート	レシピ動作を行います。 レシピ No.は、データエリアで選択したレシピ No.となります。	レシピ No.は、「⑧選択レシピ No.」欄に表示されます。
③	リターンバルブモード レシピ動作スタート	リターンバルブモードレシピ動作を行います。	「⑧選択レシピ No.」欄に表示されるレシピ No.とは無関係です。
④	インダミーモード レシピ動作スタート	インダミーモードレシピ動作を行います。	「⑧選択レシピ No.」欄に表示されるレシピ No.とは無関係です。
⑤	ダミーモードレシピ 動作スタート	ダミーモードレシピ動作を行います。	「⑧選択レシピ No.」欄に表示されるレシピ No.とは無関係です。
⑥	ストップ	作動を停止させます。	
⑦	リセット	アラームをリセットします。	
⑧	選択レシピNo.	「②レシピ動作スタート」で動作させるレシピ No.を表示します。	レシピ No.は、データエリアで選択したレシピ No.となります。
⑨	現在吐出量 表示	現在の吐出量を表示します。	吸入時は、吐出した量から減算した値となります。

5-8 モニタエリア説明



- ①：出力信号
 ②：入力信号
 ③：圧力センサ
 ④：最新エラー内容表示

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	出力信号	現在の出力状態を表します。 <div>ALARM 出力 SUCKV 出力 DISP-E 出力 RTNV1 出力 CHRG-E 出力 RTNV2 出力 HOME 出力 SENALM 出力 INV 出力 PAL 出力 OUTV 出力</div>	赤：ON 白：OFF 橙：ON/OFF 以外の受信 注) 表示が安定しない場合や、 橙が頻繁に表示される場合 は、RS485 アドレススイッチや 配線、ノイズ環境を確認してく ださい。
②	入力信号	現在の入力状態を表します。 <div>RCP0 入力 START 入力 RCP1 入力 STOP 入力 RCP2 入力 ORG 入力 RCP3 入力 RESET 入力</div>	
③	圧力センサ	現在の圧力センサ 1、圧力センサ 2 の状態を表示します。	未接続時は「---」と表示します。
④	最新エラー内容 表示	最新エラー内容表示ボックスにて、発生したエラー内容を表示します。 新しいエラーが発生した場合は上書きされます。	

6. 改訂履歴

Ver.1.0 新規作成

※製品に関するお問い合わせは最寄りの当社営業所または、下記お客様技術相談窓口へ
お問い合わせください。



株式会社コガネイ

お客様技術相談窓口

TEL : 0120-44-0944

電動ポンプコントローラ F-RPCU01用 サポートソフト

取扱説明書

2026年9月 Y143269 Ver.1.0

本書の内容の一部もしくは、全てを無断で
複写・転写することを禁じます。